

お引越し完全チェックシート

4 週間前	旧居の解約の通知	賃貸の解約通知は30日前までが一般的ですが、契約によっては40日以上前というところもあります。現在、賃貸に住んでいるなら手元の契約書を再度チェック。
	引越し会社に見積依頼	引越し業者に頼むときには1社に限定せず、何社かの見積を取って比べてみましょう。レンタカー利用の場合も希望日に車があるかの確認は早めに。仮押さえをしておくで安心です。
	粗大ゴミの手配	旧居管轄の清掃局へ(処分の方法、料金、回収日などは自治体によって異なるので早めに電話で確認し、回収の予約を入れる。勝手に近所に捨てるのは違法行為です。)
	転校手続き	市区町村で異なるので、必要な手続きは担任の先生に確認。

2 ～ 3 週間前	新居への引越し日の通知	引越しの日が決まったら、新居の不動産会社や管理会社に引越し日を連絡。
	荷造り用品の手配	スーパーに頼めばダンボールは手に入るけれど、引越し会社に頼む場合でも、ダンボールは早めにもらいましょう。
	荷造り	普段使わない物や、季節ものの衣類などから始めるのがコツ。新居のレイアウトも決めておきたいですね。
	電話	NTTは116番。
	郵便物の転送依頼	最寄りの郵便局に転送依頼用のハガキがある。これを出せば1年間、無料で旧住所からの転送を行ってくれます。

1 ～ 2 週間前	転出届	旧居の市区町村(転居14日前から受付)
	印鑑登録の廃止	旧居の市区町村
	国民保険	旧居の市区町村
	児童手当など	旧居の市区町村
	電気	旧居管轄局へ電話(使用開始は新居備え付けのハガキで)
	水道	旧居管轄局へ電話(使用開始は新居備え付けのハガキで)
	ガス	新・旧管轄局へ電話(立ち会いが必要)
	インターネット	契約プロバイダ
	新聞代の精算	管轄の販売店
	NHK、衛星放送、ケーブルTVなど	契約TV局、NHK係員へ
	銀行・郵便局口座の住所変更	口座のある銀行・郵便局
	公共料金等の自動振り替え手続き	変更まで1カ月ほどかかるので早めに手配。住所変更届の書類をもらっておきましょう。
	保険・クレジットカード	契約会社へ
	新居の清掃	

引 越 し 前	家族のダンドリ確認	旧居・新居の荷物の搬出・搬入の立ち会い、移動の方法などを事前に決めておけば、イザというときも安心。「携帯電話があるから」と、ぶっつけ本番は避けましょう。
	冷蔵庫の中身を処分	引越しの前日にはコンセントを抜いて、水抜きをしておきます。庫内に霜がビッシリついていたら、2～3日前から完全に霜取りをする必要があるため早めにチェック。そして、新居に着いたらすぐに電源を入れてはダメ。冷蔵庫が落ち着くまで3～4時間はそっとしておきましょう。
	洗濯機の水抜き	洗濯は引越しの前々日までに済ませましょう。濡れた洗濯機はもちろん、濡れた衣類を運ぶのは大変です。
	貴重品・身の回り品の整理	貴重品は必ず手元にまとめておき、着替えや洗顔用のアメニティグッズなどは、1泊2日の旅行を想定して支度しておくといいでしょう。
	お金の用意	当日は現金精算が多いので、お金は余裕を持って用意しておきましょう。
	ご近所への挨拶	大型車の駐車や騒音などで迷惑をかけるので、挨拶は忘れずに。

当 日	忘れ物の確認	荷物を積んだらもう一度、ベランダや下駄箱の中などを入念にチェック。間違えて備え付けの家具まで運び込んではいませんか？
	清掃(旧居)	「立つ鳥跡を濁さず」。お世話になった部屋はキレイに掃除。そのためにも掃除機は最後に積み込むこと。新居では最初に掃除機が活躍。
	電気のブレーカーを下げる	旧居を出るときには必ずブレーカーを下げ、新居では、まずブレーカーを上げる。忘れやすいので注意！
	ガス(旧・新居)閉開栓時の立ち会い	ガスの閉開栓は時間帯予約で立ち会いが必要になるので、作業時間帯には必ず誰かが居るようなダンドリを。
	立ち会い	
	新居のご近所への挨拶	集合住宅の場合でも、上下左右の部屋にはご挨拶。手みやげはタオルや洗剤など500円程度の消耗品がベター。「引越しといえば、そばでしょ」というのは、もらった方が困ってしまう。

引 越 し 後 1 ～ 2 週間	転入届	新居の市区町村(転居後14日以内)
	国民年金	新居の市区町村
	印鑑登録	新居の市区町村
	運転免許証	新居管轄の警察署(住民票が必要)
	車庫証明	新居管轄の警察署(証明書類が必要)
	自動車・バイクなどの登録	新居管轄の陸運局(転居後15日以内)